



## さわやかな秋の気配、文化・芸術・読書の秋・・・

東北や北海道の山々では早くも初冠雪の便りが報じられています。沖縄でも朝夕涼しい風が吹き、季節感の乏しいこの地でも“秋”の気配を感じられるようになりました。

10月末の日曜日は、市内の多くの学校で運動会が行われました。子ども達の日頃の学習活動の成果や、子ども達の成長したたくましい姿を確認できたことでしょう。先生方をはじめ児童生徒、保護者の皆様大変お疲れ様でした。

2学期後半は、校内合唱コンクールや中文連、期末テスト、また先生方の研修会や研究授業など多忙な日々が続きます。心と体の健康管理、仕事とプライベートのバランスに留意し、無理せず、また一人で抱え込まず、互いに声かけあって頑張っていきましょう。



## 今月のおすすめ本

『小学校 考え、議論する道徳科授業の新展開 高学年』  
赤堀 博行 編著  
(東洋館出版社, 2018)

平成30年度から全面实施される「道徳科」。本書では、「道徳科」の定番教材をもとに、全内容項目の多様な実践を掲載！各実践には「評価のポイント」も解説。「道徳科」に求められる、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を実現するための、「登場人物への自我関与を中心とした学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」のポイントがひと目でわかる！（出版社HPの本書内容紹介）

『子どもの性同一性障害に  
向き合う～成長を見守り支  
えるための本』西野 明樹 著  
(日東書院本社, 2018)

子どもの言動に性別の不一致を感じたとき、ご自身や身近な子どもが性別違和感を抱いているとき、その子どもにどう向き合い寄り添っていくことができるでしょうか。著者の西野氏は、性同一性障害の当事者性を持つ希少な臨床心理士。無理に理解しようとせず、決めつけようとせず、寄り添っていくにはどうしたらいいのか。お子さんと共に歩める本として、おすすめの一冊。(アマゾンの本書紹介文より)

## 新着本です！



自分の性別に違和感を抱く子どもに親と先生ができることは？  
大切な未来をよりよく考える！

## 月刊誌(11月号)ピックアップ

定期購読雑誌3タイトルの特集記事についてご紹介します。(2面にも雑誌紹介。)  
※最新号以外のバックナンバーは貸出ししています。どうぞご利用下さい。



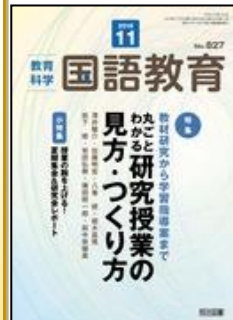
『授業力&学級経営力』(明治図書)

特集：さようなら、ブラック労働！教師のための「ホワイト」仕事術  
○時短と成果を両立する 堀裕嗣の仕事の流儀  
【特別寄稿】ワーク・ライフ・バランスと後悔しない働き方 他



『総合教育技術』(小学館)

総力大特集：若手育成×ベテラン活用 今求められる教師教育  
特集2：2018年度「全国学力調査」結果徹底分析【連載】  
●半径3mからの「働き方改革」  
●学校リーダーのための間違えないICT実践編 ほか



『教育技術/国語教育』(明治図書)

特集：教材研究から学習指導案まで 丸ごとわかる研究授業の見方・つくり方  
小特集：授業の腕を上げる！夏期集会&研究会レポート<連載>●思考力と表現力を高める作文指導 ほか



## 新着図書



今回は、芥川賞・直木賞(2017下半年期)や本屋大賞受賞作品、道徳教育関係の新着図書などをご紹介します！詳しくは図書室まで。



- 『小学校 考え、議論する道徳科授業の新展開 低学年』赤堀 博行 編著 (東洋館出版社 2018)
- 『小学校 考え、議論する道徳科授業の新展開 中学年』赤堀 博行 編著 (東洋館出版社 2018)
- 『島恒生・吉永幸司のみんなでつくる「考え、議論する道徳」』島恒生・吉永幸司 著 (小学館 2017)
- 『どうする？これからの道徳「教科」道徳への対抗軸を探る』大和久勝/今関 和子 編著 (クリエイツかもがわ 2018)

- 『フォーカス・オン・フォームとCLILの英語授業 一生徒の主体性を伸ばす授業の提案』和泉 伸一 著 (アルク選書 2016)
- 『百年泥』(第158回芥川賞受賞) 石井 遊佳 著 (新潮社 2018)
- 『おらおらでひとりいぐも』(第158回芥川賞受賞) 若竹 千佐子 著 (河出書房新社 2017)
- 『かがみの孤城』(2018年本屋大賞 大賞受賞) 辻村 深月 著 (ポプラ社 2017)